

# 一般質問通告一覧表

令和4年六戸町模擬議会（12月16日）

通告 順位	質問 方法	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	一問 一答 方式	葛西 小春	メイプルシロップを利用した町の活性化について	六戸町ではビオトープ活動の一環として、メイプルシロップの製造・販売を行ってきたが、このメイプルシロップを使って新商品を開発し、道の駅での販売や、ふるさと納税の返礼品等、町の活性化に繋げていく考えはないかを問う。	町長
2	一問 一答 方式	井上 莉緒	地球温暖化対策	1. 六戸町としての地球温暖化への考えを問う。  2. 地球温暖化対策として、六戸町のバスなどの公用車をEV（電気自動車）に転換していく考えはないかを問う。	町長
3	一問 一答 方式	柏崎 晴紀	児童館設置	令和7年度に設置される義務教育学校の近くに、各地域の子どもたちが、学校が終わった後に、仲良く遊べる場所として、新たな児童館を建設する考えはないかを問う。	町長
4	一問 一答 方式	中村 徠禪	農業問題	1. シャモロックの飼育羽数を増やすために、六戸町ではどのような取り組みをしているのかを問う。  2. シャモロックを、生産から加工、販売まで六戸町内で行い、6次産業化することは可能か問う。  3. シャモロックの6次産業化に対して、六戸町として補助を行うことは可能か問う。	町長
5	一問 一答 方式	石原 麻衣	まちづくり、少子化対策	1. 六戸町内に女性や若者が集い、くつろげるカフェとして利用できる公共施設はないかを問う。  2. その場所をカフェにリフォームするための費用を町として補助する考えはないかを問う。  3. カフェを経営する組織としてNPO法人を設立する場合、町として設立を支援する考えはないかを問う。	町長

# 一般質問通告一覧表

令和4年六戸町模擬議会（12月16日）

通告順位	質問方法	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	一問一答方式	豊川 碧生	農業後継者・新規就農者問題	1. 後継者や新規就農者を増やすために、学校で児童生徒に対し、農業体験や農業の魅力についてのPRを実施する考えはないかを問う。	町長
				2. 「お試し移住就農制度」として、空き家等を利用し、短期間の田舎暮らし・就農体験を実施できないかを問う。	
				3. 耕作放棄地を使えるように整備し、新規就農希望者に貸し出すための制度を作れないかを問う。	
7	一問一答方式	平山 大地	学校給食費	1. 当町の小学校・中学校における学校給食費の保護者負担を無償とし、全額町で負担する考えはないかを問う。	町長
				2. 学校給食費を無償化した場合に必要な年間の予算はいくらかを問う。	
8	一問一答方式	戸來 海	地球温暖化、カーボンニュートラルな社会に向けて	1. 地球温暖化のために、六戸町として、ゼロカーボンシティ宣言をする考えはないかを問う。	町長
				2. 令和7年4月に開校する義務教育学校に、地球温暖化対策のためと、子どもたちの環境教育のため、さらに、災害時の避難場所の電源を確保するために太陽光発電パネルと畜電池を設置する考えはないかを問う。	
9	一問一答方式	佐藤 璃華	男女共同参画社会について	1. 六戸町としての男女共同参画社会に関する考えを問う。	町長
				2. 「六戸町男女共同参画社会推進計画」（令和2年3月）に具体的な目標数値および達成期日が記されていないことの理由を問う。	
				3. 国の「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日）にならって、役場の管理職や審議会委員等の女性比率、男性職員の育児休暇取得率、議会選挙の候補者の女性比率等の目標数値とその達成期日を高く掲げることは可能かを問う。	

# 一般質問通告一覧表

令和4年六戸町模擬議会（12月16日）

通告 順位	質問 方法	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	一問 一答 方式	下道 銀士	館野公園周辺の整備、利活用について	1. ペットと楽しく暮らせる町づくりを目指して、館野公園にドッグラン施設を設置する考えはないかを問う。	町長
				2. キャンパーが気持ちよくキャンプ場を利用できるように、館野公園内のキャンプ場のトイレを洋式にする考えはないかを問う。	
				3. さつき沼周辺の遊歩道がぬかるんでいる箇所があるので、公園の利用者が散策しやすいように整備する考えはないかを問う。	
11	一問 一答 方式	苫米地 美優	外国人と共存する町づくりについて	1. 町内に在住する交通手段の少ない外国人のために町民バスの本数を増やす考えはないかを問う。	町長
				2. 六戸町に在住する外国人と地域の住民が、交流できる場所を設置したり、イベントを開催したりする考えはないかを問う。	
12	一問 一答 方式	有馬 大和	若い世代の人口流出を防ぐとともにUターンできる環境づくり	1. 若い世代の人口流出抑制とUターン学生を増加させるための町としての施策を問う。	町長
				2. 若い世代やUターン学生が町で起業する場合、起業資金助成はあるのか。 無い場合、起業資金助成制度を設ける考えはあるかを問う。	
				3. 多くの若い世代やUターン学生を率先して受け入れる地元企業や新規起業者に対し、町として就業助成・就業補助はあるのか。 無い場合、就業助成・就業補助の制度を設ける考えはあるかを問う。	